



Mariko Teratoko Exhibition
Piece of memory

混じりあって深まる色の優しさの中に

すぐれた画家ほど画面の中に本当に言いたいことを描かないと言われる。

テーマは見る側に任されるのだ。

私のもとに送られてきた6枚の作品写真は全て抽象画だから、こちらで作者の言葉にできない思いを探ししかない。

6枚に共通するのは透明な色と深さにあり、幅の広い^{はけ}刷毛や筆で一気に描いたようで、それぞれに温度差もあり、季節の移ろいの中で誰にもある悲喜こもごもの感情を塗りこめ、描くことで救われているのであろう。

なにより、どの色も決して^{いさか}諍いを起こさない。何の無理もなく隣の色に^と溶けこんでいる。

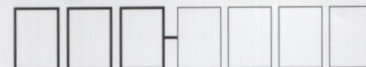
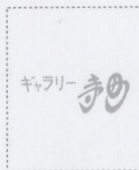
この境界をなくした融合こそ、現在激しさを増す人種や民族そして国境の問題をも考えさせて内実がある。

東京都町田市在住で内外で活躍中の画家の里帰り展である。

八島正明

ギャラリー **まの**

POST CARD



寺床 まり子展 - 記憶のカケラ -

2023.4.11(火)~16(日) AM11~PM5(最終日PM4)

●プロフィール

1957年桑名市生まれ、東京都町田市在住
名古屋造形短大洋画専攻科卒
自由美術協会会員

水、山、空、街、草木、、さまざまな色の記憶と共に平面に定着しさらに色の持つ力まで辿りつけるよう試行錯誤しています。

ご高覧宜しくお願ひします。

寺床まり子

■後援 桑名市・名古屋造形同窓会

ギャラリー **まの**

〒511-0074 三重県桑名市南寺町17
TEL・FAX 0594-40-7211
E-mail y-yamaguchi@m6.cty-net.ne.jp
HP <https://gallery-kt.art/>

